

官衙と官道

第4回

吉野ヶ里学シンポジウム

—佐賀平野を中心に—

2026年2.14(土)

10:00 ~ 16:30 (9:30 受付開始)

自治労会館 佐賀市駅前中央3丁目3-30

※ JR 佐賀駅より東南方向へ徒歩約10分 / 駐車場有

別途、発表要旨集代として1,000円がかかります

開催に関する変更は下記ホームページにてご案内します
<https://mitsu764.wixsite.com/yoshinogari>

参加
無料

事前申込
必須

定員:会場120名

申込みはHPから
<https://mitsu764.wixsite.com/yoshinogari>
定員に達し次第締め切ります。ご了承ください。



吉野ヶ里遺跡は弥生時代の遺跡として著名ですが、丘陵を削平して東西に延びる官道や郡衙・駅家・寺院に関わる建物群など、奈良・平安時代の遺構・遺物も多数検出されています。

これらの資料は研究上大変重要で、調査から40年の歳月が経ちましたが、関係者の尽力で報告書が刊行されています。今回はこの成果を踏まえて官道と官衙を取り上げ、太宰府から西の地域、特に佐賀平野の様相について考えてみます。

主催:吉野ヶ里学研究会 協力:株式会社とっぺん
お問合せ メール:yoshinogari_symposium2022@toppen.jp

10:00 ~ 開催挨拶・主旨説明

10:10 ~ 古代の役所と道
近江俊秀(文化庁文化財第二課主任文化財調査官)

11:10 ~ 筑後北部・御原郡の官衙と官道
山崎頼人(京都文化博物館学芸課担当係長)

12:50 ~ 上峰町を中心とした古代三根郡の遺構について
原田大介(上峰町教育委員会文化課文化財保護専門員)

13:30 ~ 佐賀平野における郡衙と官道 - 神埼郡を中心として -
塩見恭平(佐賀県文化課文化財保護・活用室)

14:10 ~ 肥前国府域の官衙と官道
谷澤仁(佐賀市地域振興部文化財課)

14:50 ~ 観世音寺で生まれ育つということ
石田智子(鹿児島大学法文学部准教授)

15:20 ~ 討論
司会:近江俊秀 パネラー:山崎頼人・原田大介・塩見恭平・谷澤仁

16:30 ~ 閉会挨拶